

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	R6年 9月 16日		～	R6年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数)	33
○従業者評価実施期間	R6年 9月 16日		～	R6年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	19
○事業者向け自己評価表作成日	もの活動等のスペースが十分に確保されていると思います			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもと、その家族が安心感を持って通園、また安心して意見を言える環境設定がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コドモン（連絡ツール）を使い、日々保護者と情報共有を図っている。また利用者やその家族の意見を丁寧に聞き、その意見を個別支援計画に反映、年間予定に組まれている面談（家庭訪問等）設定期間以外でも、希望や必要に応じて面談、家庭訪問、保育参観を行っている。 ・日々の発達支援では意思決定支援を大切に、こども達が意思を表出しやすい環境作りを考え、芸術文化活動などを通して自己表現できる機会を設けている。また就学後の充実した余暇活動が送れるよう経験を重ねる機会を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は園と家庭とのやり取りの主となるのが母親であることが多く、父親の参加機会はなかなか持てないことが多い。父親の参加機会を増やし、家族が共通理解のもとで更なる信頼、安心感を持って登園できるよう園全体での運動会等、行事の在り方などを考えていく予定である。今年度行われた芸術文化活動は父親の参加率アップが顕著に見られたため、今後も継続して続けていきたい。またアグネス園芸術文化部で発信する地域活動への参加を促し、フォローをしていきたい。

2	<p>・アグネス園、保育所等訪問支援、相談室が密に連携を取り合うことが出来る環境にあり、日々の情報共有を図りより良い支援方法を共に探ることが出来る。保育所等訪問支援を利用している場合、併行利用先との連携も行っている。</p>	<p>・利用者の特性やニーズを正確に把握するためにアセスメント表を活用し、育成歴、医療に関する情報まで保護者からヒアリングを行い、それらの情報を共有している。また相談室のモニタリングで知りえた情報や日々の変化などもその都度共有し、チームでの支援が行えるようにしている。</p> <p>・定期的な訪問で、訪問先との信頼感のもと支援を行っている。</p> <p>・無理なく地域へ移行していく機会を設定している。</p>	<p>・勤務日や勤務時間が個々に違う非常勤職員とも、こまめな情報共有を図るため、ミーティングノートやホワイトボードの活用に加え、事例検討会なども常勤に限らず参加できる機会を設ける等、園全体での取り組みを増やしていく。</p> <p>・アグネス園地域交流チャレンジ部より、地域の保育施設の園庭開放や未就学児交流の情報を積極的に発信することで地域交流の機会を増やし、地域移行のフォロー体制を充実させていく。</p>
3	<p>・家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や懇談会の開催など、保護者間交流の場などを積極的に設けている。</p>	<p>・クラス懇談会やペアレントトレーニングなどを開催し、こどもの発達や支援に関する理解を深めていくだけでなく、家族同士での支えあいのネットワークが築かれるようにしている。</p>	<p>・1と同様に、母以外（父、祖父母）の参加機会を増やしてこどもの特性理解を図り、家族内でのサポート体制構築にも繋げていきたい。</p>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・家族間の交流を図る場は、設けられているがきょうだい間の交流においては図れていない現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開園時間が平日の10時～14時ということもあり、多くの場合きょうだい児も幼稚園、保育園、小学校などに行っている時間のため園行事等への参加が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みや春休みといった、教育機関が休みとなる時期を利用した交流行事を企画、設定し家族支援の充実を図っていけるようにする。

2	<p>・国の基準は満たしているが、個々の障がい特性を考えると十分とは言い切れない体制の時がある。</p>	<p>・扶養などの関係もあり、非常勤職員が働ける時間数に限りがある。</p> <p>・感染症などが流行る時期には、職員自身や職員の家族もそういった感染症にかかるケースも多いため、欠員が重なりがちである。</p>	<p>・職員のスキルアップや技術向上に努めるとともに、休みの職員がいても余裕をもった配置が出来るような職員の増員、定着を図り、魅力ある職場作りを目指していく。</p>
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター アグネス園

公表日 R7年 1月 14日

利用児童数 48名

回収数 33

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	94%	6%	0	0	十分なスペースだと思う／目が行き届く範囲で、子どもがのびのびして良い／室内は確保されていると思いますが、外の遊具など充実していると思う／各教室は少し狭いかなと思う／子どもの数のわりに入り口スペースが狭く感じる、バスの乗り降りや避難時が心配／教室やホールは十分な広さだと思う／広すぎず狭すぎず目が行き届き、子どもを安心して保育してもらえ／外遊びスペースがもう少しあるとよい／活動するには問題ないと思う／人数に合った教室、子どもが自由に走り回れる遊戯室等設備が整っている	・アグネス園では、国の定める設定基準に従いスペース確保が行われています。発達支援室は園児1人当たりの床面積2.47㎡以上。遊戯室は園児1人当たりの床面積1.65㎡以上となっております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	82%	6%	3%	0%	丁度よい人数だと思う／4月新しく入ってくる子どもに対しては特にケアが必須になると思うので、4月5月は朝もう1人いても良いのではと思う／児童の特性による／以前の施設より、クラス単位が少ないが十分だと思う／基準に達していても先生一人一人の負担は大きいと思う／適切であると思いますが、半年で数名退職者があり引継ぎや補充等体制整備は気になります／児童4人に対して1人いますし、心理、作業療法士、看護師の方もいるから安心です／担任不在時も違う先生が変わったりと柔軟に対応している／子どもたちがトイレに行っている間、教室に残っている子ども達を1人でみることになる	・国の定める人員配置に従い、園児4名に対し保育士1名を配置しています。専門職の配置も進めていくことで、より充実した支援の提供へと努めております。

3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	88%	6%	0	6%	教室内に、1日を通してやることのボードが絵でわかりやすくある／段差もなくバリアフリー化の配慮もされていると思う／園の隅々まで見たことがないのでわからない／こどもがわかりやすい構造になっていると思う	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的な支援を心がけています。 ・発達支援室だけでなく、玄関やトイレといった場所もバリアフリー化されています。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0	0	0	いつも持って帰ってくる上履きがきれいなので、しっかりと掃除されているんだと安心感がある／明るくてよい／こちらに来てからトイレに行けるようになった／作品が飾っており、明るい雰囲気でもとても良い／園全体きれいでとても気持ちが良い	<ul style="list-style-type: none"> ・園舎内、周辺環境整備、清潔に努めてまいります。
5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	88%	12%	0	0	一人一人に個性があると思うが、それぞれに合わせられた支援が受けられていると思う／PTの方が辞められたので後任の方や、言語聴覚士の方がいるとより専門的な支援が受けられると思う／言語聴覚士が常駐しているとよい／特性や性格に合わせて支援してもらえている／言語聴覚士に来てもらいアドバイスや相談を受けたい／個々のペースに合わせて集団生活に必要なことも盛り込まれていて良い／PTの専門リハ受けたい／こどもの気持ちになり考えて対応してくれている／こどもの発達に合わせて丁寧に指導してもらっている／身体に障害があるがリハビリなども行ってくれている	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職員の充実を図るとともに、職員全体のスキルアップに努めてまいります。
6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	94%	6%	0	0	ちょっと違うと感じたことがないので大丈夫だと思う／合っていると思う	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も努めてまいります。

適切な支援の提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	97%	3%	0	0	<p>いつもの確な支援計画を立ててきている／家庭と園とのすり合わせが出来、問題解決にたいして共有、改善がわかりやすい／面談内容を反映した内容だと思う。私自身も相談室の支援計画に留意してニーズを明確にしているつもりですが、園でも共有してもらえていると思う／とても理解してくれており、知らない一面を知らせてきちんと作成してくれている／こちらの意見をしっかりと聞いて、よりよい指導方法で取り組んでくれている／とても細かく日常の様子を書いてくれている</p>	<p>・アグネス園では、クラス間だけでなく、児発管、相談員等とも日々の様子の共有を図り、目標に向けたより良い支援方法を検討しております。</p> <p>・対象事例を丁寧に振り返り、個別に深く検討することで、状況の理解や対応策等を職員全体で考える事例検討会なども年に3回以上おこなっております。</p>
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	94%	0	0	6%	<p>支援計画は細かく記載されており、それを読みつつ親の希望も反映される確な支援を受けている／家族の悩みをしっかりと聞いて不安なこと、改善できることを支援してくれているので安心して任せられている</p>	<p>・本人支援・・・「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域において、将来、日常生活や社会生活を円滑に営めることを目標としています。</p> <p>・家族支援・・・家族が安心して子育てが出来るよう、様々な家族の負担を軽減していくための物理的、心理的支援を行っていきます。</p> <p>・移行支援・・・可能な限り地域の保育、教育等の支援が受けられるようにし、且つ同年代のこどもとの仲間作りを図っていただけることを目標とします。</p>
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	94%	0	0	6%	<p>家庭と園とのすり合わせが出来、問題解決に対して共有・改善がわかりやすい／十分に支援が行われている／面談時に今後の支援内容の説明を聞き、日々の活動メールを読み、沿っていると感じる</p>	<p>・今後とも計画に沿った支援を実施していきます。保護者の希望の日程で、参観、相談にご案内します。</p>
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	91%	3%	0	6%	<p>毎日違う活動が行われており、年長クラスになると鉛筆を使って数字を書いたり、就学に向けての活動プログラムも組まれている／年長は就学を想定したプログラムを取り入れていて工夫されている／毎日違う活動で良く考えられていると思う／色々なプログラムを考えて取り入れてくれている</p>	<p>・活動プログラムが固定されないよう、児発管とクラス保育士とがともに立案していきます。また芸術文化活動なども積極的に取り入れております。</p>

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	18%	18%	48%	16%	交流すると辛くなるためないことが助けになっている／コロナ禍からそれほど経っておらず、他園の方針もあるので難しい面があると思う／中々そういう機会が難しいと思うので友人の友だちと遊んでいる	・県立盲学校の児童による音楽交流会を実施しました。これからも地域の同年代のこども達との交流を設定していきます。
保 護 者	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0	0	0	特になし／入園する際に詳しく説明があった	・今後も丁寧な説明を心掛け、不明な点があれば都度お伝えしていきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	100%	0	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	91%	9%	0	0	コドモンにて様子などを教えてくれて有難いです／連絡アプリにて共有が十分なされており良い／いつも連絡帳の内容が丁寧で細かく書かれていて嬉しい／コドモンや電話で情報共有が出来ているので十分に理解して頂けていると思う／コドモンで園や家庭での内容が共有出来ている／コドモン等で1日の様子を丁寧にわかりやすく発信してくれている	・コドモンの利用により、日頃のこどもの発達状況や課題についての共通理解が深まりました。今後ともご協力お願い致します。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	94%	6%	0	0	必要に応じて個々に対応されている／きちんと行われていると感じる／先生から電話やメールにて丁寧な説明が行われている／モニタリング以外にも個別面談がある。園だよりなども。	・個別支援計画面談以外にも、保護者の希望に応じて適宜面談及び家庭訪問を行っております。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	91%	6%	0	3%	何かあれば親身になって支援など対応してくれている／親身であると思う／十分にされていると思う／そう思う	・保護者が安心して相談できるような関係構築、支援の充実に今後も務めてまいります。	

日 への 説明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	64%	30%	0	6%	定期的に行われており、頻度も丁度良い／自分のこどもは併行利用ですが、他の子についてはわからない／兄弟に向けては不明。保護者同士の交流に期待している／初めて懇談会に参加した／兄弟同士の交流場が設けられているかは不明／兄弟向けイベントの開催が園主催であると更に家族観での理解も進むと思う／父母会での交流はありますが、園での保護者同士の交流は少ない／兄弟イベントは不明／家族への支援は十分にされていると感じる／支援されていると思う	・クラス懇談会や年に2回のペアレントトレーニング、保育参観等以外に、アグネス園では保護者が主体となって活動する父母会にて定期的に茶話会等も開かれております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	85%	9%	0	6%	以前問題行動があった際、的確な助言や対応をしてくださり、安心して取り組むことが出来た。連絡も早い対応であった／何かあると迅速丁寧な対応をいただいていると感じる／出来る事はしっかり対応してくれている	・保護者からの相談について適宜対応できるよう、職員間での共有や対応方法について周知していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	91%	3%	0	6%	十分と思う／十分にされている／発達に合わせて丁寧にしてくれている	・こどもの発達状況や特性に応じた意思の疎通手段としてのコミュニケーション環境を整えていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	88%	9%	3%	0	よく発信されている／きちんとされていると思うが自分が勉強不足で分からない／毎月の園だよりや活動プログラム、わんぱくだよりを見るのがとても楽しみ／きちんと発信して頂けて嬉しい／行事があるごとにコドモンの発信がある	・自己評価につきましては、こちらのアンケートと同じタイミングで事業所向けアンケートを行っております。毎年、結果を画面で配布しておりましたが、今年度からは報酬改定に伴いホームページでの公表もおこなっていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0	0	0	十分だと思います／必要な書類、写真撮影等の扱い等しっかりされています	
非 常 時	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100%	0	0	0	きちんと説明されており、訓練も月に一度は実施されているので十分だと思う／地震等、災害に備えて月1でしっかりと訓練してくれている	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100%	0	0	0	定期的にアプリに記入されている／月に1回実施されているので十分だと思う／毎月の避難訓練のおかげで自宅でパニックにならずに自身のテーブルの下に避難しました／しっかりと訓練してくれている	

等 の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%	0	0	0	安全に行われていると思う／しっかり行われている	・危機管理マニュアルを各ご家庭に配布しました。これからも、こどもの安全を第一に支援していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	97%	3%	0	0	ちょっとした怪我でも連絡をくださるので安心して預けられます／電話にて早急に連絡があり、対応されている／何かあった際電話やコドモンできちんと連絡がもらえるので安心／顔に怪我をした日に電話で説明をいただきました／電話、コドモン等で些細なことでも丁寧に連絡がある／コドモンを通じてこどもの様子を教えてもらえる	・事故(怪我等)が発生した際には、速やかに保護者へ連絡、状況説明および対応についてご説明させていただきます。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%	0	0	0	家庭とほぼ同じ状態で園生活が送ることが出来ており、満足している(親子ともに)／毎日登園して帰ってきた時と休みの時が全然違って、園にいた時の方が楽しそうに家でも過ごしており、本当にアグネスが大好きなんだなということがとても伝わってくる／毎日楽しく登園しています／先生方の顔を見ると笑顔になり安心している様子がある／心を開いて通っている／アグネスに行くのを楽しみにしている	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	91%	9%	0	0	たまに嫌がることもありますが、基本は楽しく通えています／お友だちと走り回って毎日楽しそうです／帰宅時には満足した様子なので楽しんでいると思う／毎日楽しく通っている／休日明けは時々行き渋りがある／楽しく登園しています／毎日通えている／入園当初は不安な様子があったが、今は自分からバスに乗るようになった	・今後もアグネス園が子ども達にとって魅力的で楽しく学べる場となるよう努めていきます。 ・休園日、こどもの余暇の過ごし方の提案として、地域の芸術文化活動の情報を発信していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	97%	0	0	3%	いつも優しく支えて下さり感謝です／大変満足です／皆さん一生懸命支援して下さいと思います／十分である／アグネス園に出会えてよかったです／とてもという言葉でまとめてしまってよいのかと思うほど満足です／日々成長出来ており、少しずつ変化がみられて家族で感謝している／子どもや親の意見を尊重してくれてとても感謝している	・子ども中心に取り巻く環境全てが支援の対象となっております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援センター アグネス園

公表日

R7年 1月 14日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	82%	18%	トイレや水道が混んでしまう時があるが、順番に行けるように工夫している／見学者や実習生の人数により、大人と子どもの人数のバランスが偏りそうな時には、その都度判断している／扉を開けると広くなる部屋、人数によって変えられるところも状況によって使い分けられるところ、工夫されている	・国の定める設定基準に従い、スペース確保が行われています。発達支援室園児1人当たりの床面積2.47㎡以上。遊戯室面積園児1人当たりの床面積1.65㎡以上となっております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	47%	53%	既定の配置はされているが、専門的支援を行うには余裕がなく人手不足を感じる／子どもへの配慮で、多くの職員が配置出来たら良いと思う／1対1での対応が必要な子どもが複数人いる場合、足りないと感じることがある／子ども4人に職員一人では大変なこともある／クラスによっては既定の配置人数よりも手厚く出来たら、より丁寧に保育できるのと思うことがある／活動や状況により職員の配置がされている／心落ち着かせたいお子さんがいた時に、もう1人保育士がいると他の子どもも落ち着く場面があると思う／対人数は合っている／4対1では足りない、配慮が必要なケースが多い、保育士の数が増えてより良い保育が叶うことで保育士のやりがいにも繋がると思う／児の特性、障害の程度に配慮した配置が出来るくらい余裕のある保育士数が必要と感じる／カリキュラム時は目標に合わせた支援、介入をするには難しい状況がある／1対1での対応が必要な場面が多い	・国の定める配置基準以上の配置がなされています。クラス担任の他に、非常勤で多種専門職（心理士、作業療法士等）の配置があり、連携を重視したチームでの支援を行っています。 ・今後もスーパービジョン体制や研修等を通して、専門性を高める努力をしています。

備	3	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	94%	6%	段差なく、バリアフリー化されている／クールダウンスペースの必要性／教室からホール、園庭に向かう際の導線は視覚的にも捉えやすく、わかりやすいと思われる／園内などは段差もなく、安全な環境だと思われる	・静養室にベッドを配置し、必要に応じて使用します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0	今年度から性的虐待防止の観点より、休息や着脱時のパーティションを導入した／子どもたちの活動に合わせた空間となっているが、土足のまま入ってしまう子も中にはいる為、裸足で過ごしている子の足の裏が汚れていることもある／誤食や感染などのリスクに備えて、物品管理や掃除が行われていると思う	・業者による定期清掃が入る等、園舎、園庭の衛生管理に努め、こども達が心地よく活動的に過ごせる環境を維持していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	65%	35%	個別支援の際は、相談室①②を使っている。クールダウンやタイムアウトのための部屋も常備できると感じる／癇癩、泣き声、大声等で他児の安定をはかれない時は、パーティションでなく静養室が必要	・必要に応じて個別の部屋や場所を使用できるよう、朝のミーティング時に各部屋の利用状況を共有しています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0	業務改善の意見箱を設置し、職員会議で議題に取り上げて話し合い改善を図っている／勤務時間が異なる職員にも日報や職員会議録にて伝えている	・業務改善の為の意見箱を設置し、対応しています。今後も職員会議での情報交換、振り返りを継続していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0		・年に一回保護者向け評価表の結果を書面及びホームページにて公表します。職員間で周知し、保護者の意向の把握に努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	94%	6%	話しやすい環境が整っていると思う／職員会議で毎月取り上げている／職員から挙げられた意見は、園の方針に合わせた業務の範囲内で改善を検討している／意見などを伝える時間や機会がない	※項目 6 と同様
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	94%	6%	今年度から外部評価を受けていくため、準備を進めている	・今年度から第三者評価を実施します。職員間で支援や取り組み等、様々な事柄について話し合いを進めていきます。

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	94%	6%	必要に応じて研修の機会が業務時間内に設けられている	・職員全体の資質向上に向け、園内外の研修の機会を確保していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。			・ 閉園時間が平日の10時～14時というこ	担任だけでなく、フリーの保育士、園長、副園長等、複数の職員で支援内容を確認している／興味のあるものに参加できる機会がよい
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%			・ 発達の状況やこどもと保護者のニーズに沿った支援計画を提案していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	94%	6%	非常勤職員が支援計画を知る為の時間が足りないと感じる	・ アグネス園では、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員、相談室などが計画的に携わっています。今後も情報共有を密に行い、利用者の最善の利益を考慮した検討を行っていきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	88%	12%	各自で他のクラスの計画も確認できる環境だが、時間が取れず確認できていない／非常勤職員とは支援前に口頭にて共有している	・ 支援に関わる職員全員が、支援計画を周知し支援にあたるよう時間の確保等行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	88%	12%	日々の様子は児童票や連絡帳に記録しており、アセスメントに活用している。また心理士や相談員の行動観察の結果から支援に繋がることを共有している／標準化されたツールなのかはわからない	・ わかりやすいアセスメントツールを用いて、個別支援計画に繋げていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	94%	6%	1人で作っているが、まわりの保育士に相談し意見を聞いている／相談しながら活動プログラムの作成が出来ている／就学に向けてや活動内容により、年長クラスは合同で行うため話し合いを持っている／他の職員に相談してたてることが多い、1人ではない	・ 風通しの良い職場環境を意識し、チームで活動プログラムの立案、相談が出来るよう努めます。

切 な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0	他職員と活動内容の話をして、様々な活動プログラムを行うようにしている／季節の行事、今のクラスの子たちが興味を持っていることなどを取り入れるようにしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	94%	6%	個別、集団に加えて、合同集会などで30名以上の集団経験も積めるような機会を作っている／集団での活動、個々で行う活動をプログラムに取り入れている／質問にあるような支援が自分に出来ているか自信がない	・個別支援を中心に、クラス単位（6～8名）、園全体（30名以上）での集団活動も設定しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	82%	18%	全クラスでその日の活動内容の共有、こどもの状況など毎朝打ち合わせを行っている。またその内容をミーティングノートで非常勤職員とも共有できるようにしている／朝の受け入れや自由遊びの時間に支援内容や役割を分担している／バス添乗などで朝は時間が取れないこともある／この時間をもう少し取れるとよいと思う／共有する時間が十分に確保できない状況だが、こどもが落ち着いている時間に共有するよう努力している	・時間のやりくりが難しい中でも、各自が工夫して活動内容や役割分担について確認しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	76%	24%	活動の様子を振り返り、次の活動へと改善しながら取り組めるようにしている／支援終了後、担任は記録、サブはバス添乗があり当日中に振り返りを行うことは困難なことがある／バス添乗などがあり振り返りが行えないことも多い／振り返りという時間は設けていないが、一緒に入った職員とその日のことを共有している／掃除、記録、その他の事務仕事等、多くの業務がありその日のうちに行われた支援の振り返りは出来ていないが、悩んだ時には相談できる環境である／勤務時間の関係で、非常勤の職員は活動後に振り返りの時間を確保することは困難	・クラス間はもちろんのこと、園全体で情報共有を図り、支援の振り返りを行う体制を定着させていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0	毎日、活動や生活面の記録を必ず残し、支援に生かしている／出来ていると思う	

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0	今年度は保護者が支援の様子を見る機会や、担任と話す機会が月に1回以上ある／モニタリングでの情報共有、こどもの変化なども共有している	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	94%	6%		・各機関と協力、連携を取り合い、より良い支援へと繋げていけるようにしています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0		・互いに理解を深めていけるよう、見学や面談の機会を設けています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0	スムーズな就学に向け、支援シートの活用や資料の作成及び引継ぎを行っている	・支援シートとは別に、必要に応じて面談や見学会の機会を設けることで、具体的な支援内容等の情報を共有し相互理解を図っています。
関係機関や保護者との連携	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	100%	0	平塚市障がい者自立支援協議会未就学児分科会等により、地域の事業所等と連携を図っている／施設見学会やペアレントトレーニングなども公開し、意見交換や情報共有を行っている／連携を図っている	・平塚市障がい者自立支援協議会未就学児分科会をアグネス園が中心となって開催し、地域の事業所等とともに発達支援についての理解を深めていけるような時間を設けています。施設見学やペアレントトレーニングなども公開し、意見交換や情報共有も行っています。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%	0	研修に参加している／必要に応じて個別に研修を受講している／法人全体研修として救命講習も実施	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%	0	今年度よりアグネス園は中核機能を担うセンターとして、平塚市障がい者自立支援協議会未就学児分科会の運営を行うことになった	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	94%	6%		

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	35%	65%	コロナ禍以降難しい状況にあるが、機会は設けていきたい	・地域の幼稚園、保育園の情報収集に努め、園庭開放や体験保育等、積極的に保護者への情報提供を公開していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0	コドモンにて日々の様子を伝えている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0	入園児に行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0	ワークショップでは兄弟時の参加も受け入れ、一緒に活動を行った/クラス懇談会を開催し、活動の様子や家庭での様子を共有する機会を作っている/兄弟同士の交流はわからないが、懇談会などの機会を作っている	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	94%	6%	園だより、活動写真、地域イベント情報などコドモン連絡帳にて発信している/毎月のお便りにて発信	・毎月、園だより、活動プログラム、給食だよりの発行を行っています。

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0	個人情報が載っているものは、鍵付きの書庫で管理している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	82%	18%	防犯上の観点や利用者の心情を踏まえると地域住民を招待することは非常に困難な壁がある	・地域の事業者や保護者以外の家族の参観等、少しずつ開かれた運営の在り方を探っている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0	今年度は警察署の協力を得て「不審者対応訓練」を実施／法人研修として消防署による応急救命講習を実施	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0	消防署職員の指導のもと、消火訓練を実施／非常時における簡易トイレ使用方法訓練実施（平塚市災害時等における障害者の受入れに関する協定書を平成13年3月16日に締結）	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	94%	6%	保護者からの指示書の提出が遅れている、または未提出といったケースがある	・園のマニュアルに沿って、対応を行っています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	94%	6%	保護者からの指示書の提出が遅れている、または未提出といったケースがある	・医師の診断書に基づき、対応を行っています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	94%	6%	危機管理マニュアルを配布している	・危機管理マニュアルを全家庭に配布しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0		

	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	94%	6%	全職員対象にて虐待に関する意識調査を行い、園内外での虐待に関する研修にも参加している。また虐待防止委員会があり、検討すべき事例等毎月の職員会議で取り上げている	・今後も全職員対象で虐待に関する意識調査を行う等、虐待防止に努めていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0	身体拘束に該当する事例はないが、委員会の設置があり状況に応じて、対応することになっています	